



## 協会からの報告 第5回「シニアライフコーディネーター養成講座」 秋の全国一斉特設電話相談「シニアの悩み110番」

### 23年度の受講生は60人

昨年9月17日にスタートした養成講座には60人の受講申し込みがありました。講座内容は昨年度とほぼ同じでしたが、新しくジェロントロジーを強化して日本応用学会理事長の柴田博さんと東京都健康長寿医療センター研究所の若手研究員、井藤佳恵さんが加わり、1日に3教科の計18講座を行いました。毎月1講座は「ピバシニア講座」の一環として一般の方に公開講座としてご参加いただきました。アンケートの結果は全講座とも好評で90%以上の方が「大変よかった」「よかった」と回答しています。

### ワークショップの5グループの企画は？

最終日のワークショップで「あなたは今後どんな活動がしたいですか」をテーマに「まちづくり」「医療介護」「相談・カウンセリング」「国際交流」「生涯学習」の5グループに分かれて活発な意見交換が行われました。「思い切り楽しめるまちづくりの会」「生活助け隊」「はつらつの輪」「お互いの国を知ろう会」「よってけ広場」などの名称も決まり、それぞれ活発な発表が行われて講座を締めくくりました。意欲的な受講生のパワーを、ぜひ地域活動に活かしてもらいたいと思います。



### 全国一斉電話相談に481件の電話

平成23年9月24日、25日の両日に行われた第31回全国一斉電話相談「シニアの悩み110番」の相談数は481件でした。そのうち関東の電話件数は181件。相談者は男性131人、女性350人で今年の特徴は男性の相談が約3割に増えたことです。年齢的には65歳～69歳が1位で、2位は75歳～79歳、3位は70歳～74歳という順でした。相談内容の1位は「家族・親族」、相続・遺言」「健康・医療」と続きました。女性は「家族・夫婦」、男性は「経済」が1位でした。

### 暮らしの形態別相談内容

「ひとり暮らし世帯」252件(52.4%)、「夫婦世帯」121件(25.2%)、「家族同居」108件(22.5%)という暮らしの形態別の結果ができました。「ひとり暮らし世帯」の共通の悩みは保証人問題でした。親子関係の悪化に加えて、兄弟などの親族も高齢化して保証人がいないのです。先行きの不安や施設入居、その費用への不安など、社会とのつながりが薄れて孤立しているケースが目立ちました。

### 今回の社会提言

団塊世代が本格的に定年を迎え、男性のひとり暮らしが今後益々増えると予想されています。男性の場合、近所づきあいや友人づきあいが少なく、地域社会とつながりを持ちにくいいため引きこもりや情報難民になる可能性があります。地域や行政での見守りや生活支援と共に、社会参加しやすい仕組み作りにも取り組んでもらいたいと思います。

一人で悩まないで！お電話下さい！

常設電話相談 「シニアなんでも相談」

11時～15時 03-3495-4283

水曜日：何でも相談

金曜日：住まい・終の住処 土曜日：家族・人間関係

NPO法人 関東シニアライフアドバイザー協会

